

# わどまり

2024.1 / No.391

沖永良部島 和泊町広報誌



# 令和六年 年頭のあいさつ

和泊町長 前 登志朗



本町においても、こどもを産み育てやすい環境の整備を推進するために、支援体制を構築し、「安心・夢・ゆとりある子育てができるまちづくり」実現のため、次の三点の政策に取り組んでまいります。

- ① ライフステージごとに希望を感じられる社会を目指します。

- ② 全てのこどもに、安全・安心な環境を提供します。

- ③ 全てのこどもの健やかな成長を保障します。

本政策の推進にあたり、引き続き関係機関との連携強化を図り、子育ての喜びを感じられる町づくりに努めてまいります。

## ◆ 持続可能な和泊町づくり

### 「脱炭素社会構築」

本町は、令和四年一月に「和泊町ゼロカーボンシティ宣言」を行い、2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し、国が掲げる2050年カーボンニュートラルの達成に向け取り組んでおります。

令和四年度に第一回の「脱炭素先行地域」に知

名町の共同提案者として選定され、公共施設群への再生可能エネルギー設備の導入や学校施設の照明設備のLED化などに取り組んでおりま

す。また、公用車のEV化や充電ステーション整

備にも取り組んでおり、その他の事業として、ゴミの削減や資源化に向けた事業も検討を進めて

おり、沖永良部衛生管理組合・知名町の三者でのゴミ分別の細分化の協議や、プラスチックゴミの資源化の可能性について調査・研究を行っています。

その他、国が推進しています「デコ活」についても、町民や事業者の皆様への普及啓発に取り組んでまいります。

### 「みどりの食料システム戦略」

令和五年度は、みどりの食料システム戦略推進交付金を活用し、環境にやさしい栽培技術と省力化に資する技術を組み合わせた「グリーンな栽培体系への転換サポート事業」を取り組んでいます。

同戦略の取組として令和四年度から環境にやさしい農業を目指すことを目的に「土づくり推進事業」や「生分解性マルチ補助事業」を実施しております。

来年度以降は、同戦略に基づき県と県内全市町村が共同で策定した「環境負荷低減事業活動の促進に関する基本的な計画」に沿った環境との調和に配慮した活動を促進し、地域の実情に応じた環境への負荷軽減を図ると共に、労働力不足を補い労力軽減を担うスマート農業機械の利用促進や実証を行い、農林水産業の持続的な発展に取り組んでまいります。

## ◆ ふるさと納税の推進

国においては、子どもの最善の利益を第一に考え、子どもの健やかな成長を社会全体で支援するため、こども家庭庁が設置されました。

## ◆ 子育て支援への取組

国においては、子どもの最善の利益を第一に考え、子どもの健やかな成長を社会全体で支援するため、こども家庭庁が設置されました。

令和四年度、全国各地から多くの支援を賜り、

一億円を超える御寄附をいただきました。寄附

金が、本町の地域活性化事業を実施するための貴重な財源確保の手段であるほか、寄附の返礼品として町内事業者の皆様が愛情を込めて作った特産品や農産物などを提供することで、地域経済を潤し、地場産業の成長につながる大変有利な制度であり、重要な施策と考えます。

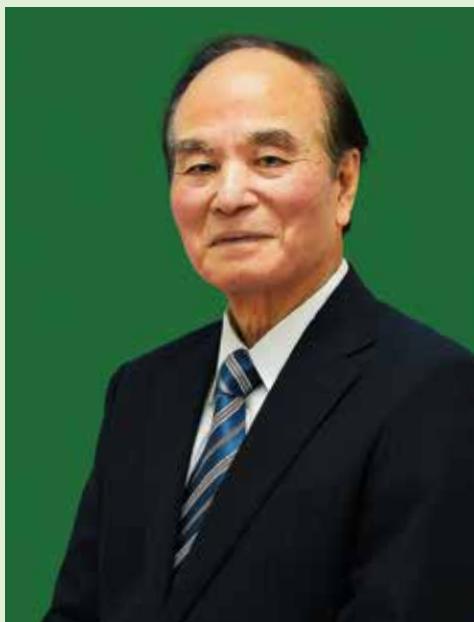
また、企業版ふるさと納税を活用して、沖永良部島漁協製氷施設の改修事業を実施し、一次産業の支援を行うほか、教育分野では、町内の児童・生徒を対象に理科実験イベントやプログラミング教室、環境保全イベントを開催するなど、奄美群島内では最先端の特色ある教育プログラムを積極的に導入しております。

今後も、ふるさと納税を推進し、新たな返礼品の開発を積極的に推進するほか、豊かな地域資源を最大限活用して誘客プロモーションを推進し、「和泊町ファン」を増やし、本町の魅力を発信していきたいと考えております。

結びになりますが、これから和泊町の未来を拓くためにDX（デジタルトランスフォーメーション）を積極的に推進し、デジタル技術を活用することで、町全体の発展を促進し、町民の生活をより快適にする取り組みを進めていく所存です。

輝かしい新年が町民並びに全国各地で御活躍されている皆様にとって、幸福な年でありますよう心から御祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。

## 教育長 竹下 安秀



### 【家庭教育の充実】

「家庭教育の充実」では、「教育の原点は家庭にある」との理念のもと、「基本的な生活習慣の確立」、「スマホやネットの使用についてのルールやマナーの啓発」、「家庭学習六〇・一二〇運動」、「幼児教育」等を重点に取り組んでまいります。最適な学びと協同的な学びにより、さらなる学力向上を目指します。

令和六年の年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。町民の皆様には、日頃より、本町教育の充実・発展のためにご支援・ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

### 【社会教育の充実】

本町教育委員会は、今年も町民に信頼され、町民と共にある教育委員会を目指し、教育をめぐる諸問題の解決に積極的に取り組んでまいります。社会教育の充実では、町民の皆様が、自己の人格を高め、豊かな人生を送ることができますように、生涯にわたってあらゆる機会にあらゆる場所で学べる環境づくりを目指し、「生涯学習の推進」、「生涯スポーツの推進」、「芸術・文化活動の推進」、「文化財の保護活用」等を重点に取り組んでまいります。

結びに、新しい年が町民の皆様にとりまして、希望に満ちた輝かしい一年となりますよう心から御祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。

### 【学校教育の充実】

「学校教育の充実」では、「確かな学力・豊かな

ジョギング大会が5年ぶりに  
帰ってきたぞ!!



40回記念  
Tシャツ  
だぞ!

奄美群島日本復帰 70 周年記念

# 第40回 花の島えらぶ ジョギング大会

2024.3.10[SUN] 8:30 開会

## 3kmコース

ベビーカーやペットと参加もOK! ウォーキングコースとして  
ファミリーでの参加も大人気!

## 5kmコース

「新日本銘木100選」に登録され、小学校敷地内でひと際存在感を  
放つ樹齢120年の日本一のガジュマルの前を走ります。

## ハーフコース・ハーフリレーコース

スタートから5キロ地点は、オーシャンビューコースとなり、国定  
公園内を走ります。全体的に高低差がなく、マラソン初心者から  
記録を目指すランナーに大人気です! コースには8か所の応援  
ポイントがあり、島民の温かい声援が魅力的です!

## 申込期間・申込先

2023.12.18[MON] - 2024.1.28[SUN]

- 花の島えらぶジョギング大会事務局（和泊町役場企画課内）
- おきのえらぶ観光協会事務局（旧下平川保育所）
- ファミリーショップ大福（A コープ和泊店近く）

# ジョギング大会の魅力を聞いてみたぞ！

ランナー歴42年。第1回大会からこれまで欠かさず長距離コースに出場し続けています。50代の頃には駅伝大会にも出場経験があり、他地域のフルマラソンなどにも参加をしていました。仕事を終えてから、10kmを2時間かけて走ることが毎日。習慣になっていまして、走って頭の中をリセットしたり、走ったあとの晩酌がとても美味しいんです。ジョギング大会では、子どもから高齢者まで多くの参加者がいて、いろんな世代の人と走って競争したり交流できるのが楽しいです。オススメのスポットは、ハーフコースのフーチャから西原海岸までの海岸線沿い、景色を見ると疲れを吹き飛ばしてくれます。

「第1回から毎回出場している」80代の男性

今大会も3キロに参加します！！毎年健康維持のため参加していますが、歩いてる最中には「来年も参加できるかなあ！参加したいなあ」と思っています！足が動く限り参加したいです。毎年、たくさんの方に声をかけてもらえるおかげで自分も元気をもらっています。出場の全てが思い出です。

「参加者最年長」90代の女性



第35回花の島沖えらぶジョギング大会に参加したときに、愛知県から参加していた方と出会い結婚し、今年子どもが産されました。私は、今大会もフラワーフェスティバルや完走パーティーなど、関連イベントも充実していると聞いています。特別な景色・出会い・交流がある楽しいイベントです。今年は、家族3人で参加したいです。

「大会で運命の出会いを果たした」

30代の男女

前回は子どもが小さくて、ベビーカーに乗せてファミリーで参加しました。他のベビーカーでの参加者も多くて安心しました。宇宗山の坂をベビーカーで押すのは少し大変ですが、お母さんたち同士でわいわい話しをしながら歩いているとあっという間でした♪

「3kmコースのファミリー」

30代の女性

いろいろな世代を超えたランナーとの交流が出来ることがジョギング大会に参加する目的です。子供たちの楽しんで走る姿や年齢を重ねても楽しんで走る姿を見るとモチベーションアップに繋がっています。現役は引退しましたが走れる限り楽しみながら走り続けて行きたいです。ハーフマラソンコースで優勝した時、ゴールテープを当時まだ小さかった娘と切った事が1番の思い出になっています。次は娘と対決をしたいのであと10年は走り続けていきたいです。

「ハーフコース優勝経験者」30代の男性

# ルにススメ!



今

号から和泊町の持続可能なまちづくり  
に関する事業に焦点を当てた新連載

「サステナブルにススメ！」をスタートします！和泊町は、令和4年1月7日に「和泊町ゼロカーボンシティ」を宣言しました。同年4月には、環境省が主催する脱炭素先行地域募集において、知名町とともに「第1回脱炭素先行地域」に選定されています。そして今年度から、「脱炭素推進室」が役場企画課内に設置され、より本格的に事業が開始されています。日本全国でもSDGs（持続可能な開発目標）という言葉が浸透し、各地で積極的な取組が行われています。今回は前登志朗町長と脱炭素推進室 永野敏樹室長・島田裕治主査・脱炭素推進専門員 松下周平が今後の町の脱炭素関係の取組について話しました。一同は役場庁舎の屋上へとやってきました。

**町長** ここからだときれいな海や町が一望でりますね。

**脱炭素推進室（推進室）** そうですね。今後も

この豊かな自然を守り続けていきたいと思います。しかし、地球環境は年々悪化してきているのが事実です。近年は酷暑や集中豪雨、台風の大型化など、全国各地で気候変動によるものと考えられる異常気象が多発するといった環境問題が発生しています。

**町長** 確かに、記録的な大雨や猛暑など多くのニュースで目にしましたね。

**推進室** はい。異常気象は台風の常襲地帯で

ある本島においては深刻な脅威となります。

暴風や豪雨による家屋に対する直接的な被害

だけでなく、基幹産業である農業への被害、

電気等のライフルайнの遮断、空路・港湾等

の生活・産業物流の長期途絶といった広範囲

にわたる影響をもたらします。再生可能エネ

ルギーの導入でこれら全ての課題を解決でき

るわけではありませんが、こういった災害な

どの非常時に備えて電力供給の仕組みを強化

していくことが重要だ考えます。

**町長** 大事なことですね。今後は具体的にどういった取組を行う予定ですか。

**推進室** 脱炭素先行地域事業では主に、太陽光発電設備の導入を計画しています。脱炭素先行地域は家庭部門と業務その他部門（民生部門）の電力消費に伴うCO<sub>2</sub>排出実質ゼロを実現する地域なので、業務その他部門に該当する公共施設への再生可能エネルギーの導入や、照明のLED化による省エネによって電力消費に伴うCO<sub>2</sub>排出量削減を図ります。**①**

**町長** 来年度は、どの公共施設に設置される予定ですか。

**推進室** 来年度は、役場庁舎裏の屋根付き駐車場や、やすらぎ館等に設置する予定となっています。令和7年度には、今立つてあるこの場所、役場庁舎の屋上にも設置する予定です。

**町長** 今後、公共施設に設置される太陽光発電設備は全体でどの程度の容量を導入する予定ですか。

**推進室** 現計画では、両町で約5,200kW

の太陽光パネルの設置を計画しています。計算上、対象となる公共施設の年間電力需要量を賄える量となります。

**町長** 施設の固定費削減や電力消費に伴う二酸化炭素排出の削減に繋がりますね。

**推進室** はい。また、沖永良部島はエネルギーのほとんどを外部に依存しています。地域工エネルギー受給データベースのデータによると、概算で年間28億円のエネルギー代金が島外へ流出しており、その多くが化石燃料になっています。今後化石燃料価格の更なる高騰も懸念されますので、電化や再生可能エネルギーへの転換によってエネルギー自給率が向上し、外部からのエネルギー供給に依存しづらくなり、持続可能なエネルギー戦略の構築が可能になると考えられます。

**町長** 環境面や防災面だけでなく、地域経済にも効果が期待できますね。

**推進室** そうですね。また、再生可能エネルギーに関する取組だけでなく、前号の広報誌でも特集されていた「デコ活（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）」は、より親しみやすく身近な運動なので、町民の方々にも御理解をいただきながら、積極的に取り組んでいただけないとありがたいと思っています。

**町長** 町でも「デコ活宣言」をしていましたし、普段の自動車移動を自転車や公共交通での移動に変えてみたり、地元の食材を積極的に食べるようになります。クールビス・ウォームビズに取り組んだり、日々の生活にデコ活を少しずつ取り入れていきたいですね。

**推進室** 町民の方に向けたデコ活を推進する事業にも取り組んでいますので、次回以降の連載でお知らせしていけたらと思ってます。

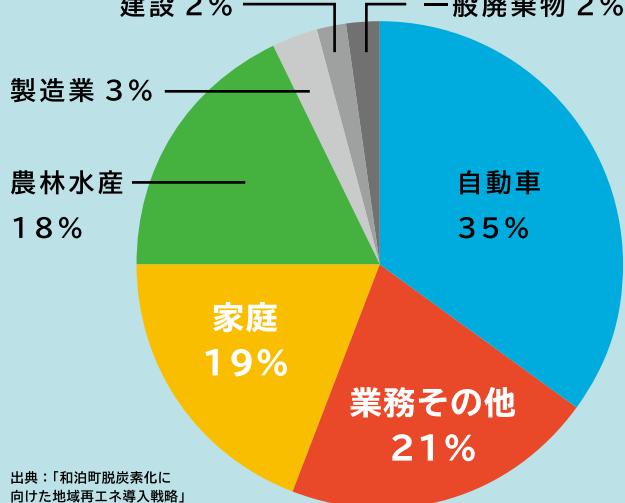
また、10月には各小学校区でゼロカーボンシティ説明会を行いましたが、周知不足で、まだ理解が得られていないところです。

で、この連載も含めて今後も住民や事業者の方々への周知を行いながら、事業の推進に努めていきたいと考えています。

**町長** 2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すゼロカーボンシティの実現に向けては、島民一丸となって取り組み、今後何十年何百年先も安心して住み続けられる持続可能な島づくりをしていきたいですね。

**町長** 環境面や防災面だけでなく、地域経

## ① 部門別の CO<sub>2</sub> 排出量の割合



# TOPICS



## 奄美群島日本復帰70周年記念第61回和泊町農業祭「AGRIC FES 61」

11月23日、役場庁庭において、第61回和泊町農業祭が行われました。島内の農林水産物、地域資源を活かした商品や食事等が販売され、ステージでは各字の伝統芸能や、ダンス等の披露が行われました。



総合褒賞	
地方自治部門	上山 富秀
	村山 兼
	伊地知 道夫
教育文化部門	町田 康子
	朝戸 弘文
	川邊 裕子
産業経済部門	菅村 晃仁
文化と福祉の祭典	
生涯学習の町づくり部門	逆瀬川 逸子
	徳永 千恵子
福祉部門	故 皆吉 つるよ
	武宮 芳枝
食生活改善部門	前田 紀代子
	伊地知 恵子
	山下 純子

## 奄美群島日本復帰70周年記念 第26回総合褒賞授与式・令和5年度文化と福祉の祭典

11月3日、和泊中学校あかね文化ホールにおいて「第26回総合褒賞授与式」「令和5年度文化と福祉の祭典」が行われました。総合褒賞授与式と文化と福祉の祭典それぞれ7名の方が表彰され、文化と福祉の祭典では舞踊、合唱等の全15演目が行われました。

# TOPICS



出場者	字	競技名	種目	結果
武 美奈子	仁志字	陸上競技	砲丸投げ	1位
			ソフトボール投げ	2位
山元 勝也	畠布字	陸上競技	砲丸投げ	4位
			ソフトボール投げ	3位
田中 三千夫	喜美留字	フライングディスク	アキュラシーディスリート・ファイブ	7位
			ディスタンスマンズ・スタンディング	4位

※アキュラシーディスリート・ファイブ・・・5m離れた距離から直径91.5cmのゴールに10投中何投入るかを競う競技。

※ディスタンスマンズ・スタンディング・・・スローイングエリア内からディスクをスローイングし、ディスクの飛距離を競う競技。

## 特別障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」

11月30日、特別障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」に鹿児島県代表として出場した3名の選手が前町長へ表敬訪問し、大会報告を行いました。前町長は「素晴らしい結果を出してくれた。これからも競技を続け、さらに活躍してほしい。」とたたえました。



## 奄美群島日本復帰70周年記念 第4回全島ヤッコ踊り大会

11月12日、あしひの郷ちなにおいて第4回全島ヤッコ踊り大会が開催されました。4年ぶりの開催となった今大会では、全8団体が踊りを披露しました。沖永良部島のヤッコ踊りは鹿児島県無形民俗文化財に指定されています。



## 「ねんりんピック」出場

10月25日、グラウンド・ゴルフ協会所属の盛勝彦さん、森富隆さんが10月28日～31日に行われた「ねんりんピック愛顔(えがお)のえひめ2023」の鹿児島県代表に選出され、町長へ表敬訪問されました。「ねんりんピック」は、60歳以上の方々を中心とする、スポーツ・文化・健康と福祉等の総合的な祭典です。和泊町からはお二人を含む計6名がグラウンド・ゴルフ競技の県代表として出場しました。

# TOPICS



## 国頭岬灯台50年特別公開

10月30日、国頭岬灯台50周年を記念して灯台が特別公開されました。初となった灯台の公開には、国頭小学校5・6年生と和泊中学校1年生が見学に参加し、普段は登ることのできない灯台からの絶景を楽しみました。



## 第28回小学生相撲選手権大会

12月2日、笠石ドームにおいて、第28回小学生相撲選手権大会が開催されました。町内の小学生たちが集まり、それぞれ力いっぱい戦いました。数々の熱戦が繰り広げられ、会場は大いに盛り上がりました。



## 外国クルーズ船 「コーラル・アドベンチャラー」号寄港

10月14日、伊延港に外国クルーズ船「コーラル・アドベンチャラー」号が寄港しました。寄港に伴い歓迎セレモニーを開催しました。多くの人がお出迎え・お見送りに集まりました。



## 和泊町小・中音楽発表会

11月11日、和泊中学校あかね文化ホールにおいて、「令和5年度和泊小・中音楽発表会」が行われました。和泊町の小学校3・4年生と、中学生による合奏・合唱の発表が行われ、それぞれ練習の成果を発揮しました。

# TOPICS



## 竿さん親子国際学会発表

10月4日、竿智之さん・りりさん親子は、タイ・バンコクにおいて開催された言語と教育に関する国際学会「Multilingual Education For Transformative Education Systems and Resilient Futures」で「OUR FSR」と題し、少数言語の継承を行う若者たちの一人として発表を行いました。「FSR」とは「Family Social Responsibility」(家族と共に果たす社会的責任)のことであり、一家で行っているビーチクリーン活動や、島で行われている「しまむに」継承の取り組みについて紹介しました。竿智之さんは「言語教育は自分たちの自己肯定感を高めることや、誇りを持つことに繋がると分かった。差別や不平等をなくすためにも言語教育は重要だと思った。」と語りました。



## ヘルシアアイランドミーティング

10月13日、和泊町役場において、ヘルシアアイランドミーティングが開催されました。会議には、前和泊町長や今井知名町長、㈱Fast Fitness Japanの山部清明社長等が参加し、沖永良部島全体での健康増進に関する意見交換が行われました。今年度タラソ施設へトレーニングマシンを御寄贈いただいたことをきっかけに、島民の健康維持や交流人口の増加などの取組みについて協議を行いました。



## 和泊町ゼロカーボンシティ 町民説明会

10月12日から17日にかけて、各小学校区で「和泊町ゼロカーボンシティ町民説明会」が開催されました。現在両町が採択を受けている脱炭素先行地域事業(環境省)や和泊町における今後の脱炭素施策等について説明が行われました。

※ 写真は国頭校区

## INFORMATION

町民支援課

### 年末年始のクリーンセンター営業日について

ごみの持ち込み最終日は  
**12/30(土)正午**までです。

ごみの持ち込み開始日は  
**1/4(木)午前8時30分**から  
です。

年末は例年、12/20頃から混雑し、搬入終了までにかなりの時間を要していますので早めの持ち込みをお願いいたします。

沖永良部衛生管理組合 / TEL:0997-92-2042

総務課

### 宝くじ助成金で整備しました！

瀬名字では、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施している令和5年度コミュニティ助成事業で、公民館に会議用長机や折りたたみ椅子、音響設備などを整備しました。



和泊町役場総務課 / TEL:0997-84-3511

教育委員会事務局

### 「和泊町の歩み」編さん事業

令和6年3月刊行予定の「和泊町の歩み」には、「近世編」・「近現代編」が組みこまれています。「近世編」では、薩摩侵攻以降の沖永良部島の歴史を紹介し、薩摩藩の支配政策と統治機構の分析や、薩摩藩との交流交易を通して、移り変わってきた島の様相を具体的に掲載します。「近現代編」は、明治維新以降の歴史について具体的な項目をあげて分析し、現在に至るまでの沖永良部島内の行政・経済・社会の推移を記述します。

- 近世：薩摩藩支配の変遷、海運と琉球のつながり、近世の沖永良部島の人々の暮らし 等
- 近現代：明治から戦前まで、戦後の移り変わり 等



最古の地図 沖永良部島  
『正保琉球国絵図』(東京大学史料編纂所所蔵)

歩み編さん事務局では、古い写真や古文書等の資料を探しています。

情報をお持ちの方は、御一報ください。事務局にいつでもお気軽に立ち寄りください。

歩み編さん事務局(町立図書館1F:郷土資料室内) TEL: 0997-92-3690(月~金)

和泊町歩み編さん室 / TEL:0997-92-3690

# 開発基金を利用してみませんか？

- ・農業・水産業を営む方
- ・観光関連業に携わる方
- ・地域の資源を生かした仕事をしている方
- ・地域活性や雇用促進のための事業をしている方
- ・これから事業を始めたいと考えている方

融資業務利率（R5・11・20時点）

年0・95～3・45%（一部の資金や経営状況等により利子補給が受けられる場合があります。）

融資期間 最高20年

【問合せ先】

独立行政法人奄美群島振興開発基金

沖永良部事務所 0997-92-1314

## 障害のある方に、合理的配慮の提供を

令和6年4月1日から、障害者差別解消法の改正に伴い、事業者による障害のある人への「合理的配慮の提供」が義務化されます。障害のある人も、互いにその人らしさを認め合いながら共に生きる社会の実現に向け、事業者の皆さんもどのような取り組みができるか考えていきましょう。

【合理的配慮の具体例】

● 障害のある人からの申出

難聴のため筆談による「ミニユニケーション」を希望したが、弱視でもあるため細いペンや小さな文字では読みづらい。

● 申出への対応（合理的配慮の提供）

太いペンで大きな文字を書いて筆談を行つた。

※障害者への具体的な配慮については、県ホームページを御確認ください。（「鹿児島県障害者差別解消」で検索）

# 休日診療のお知らせ

【問合せ先】

鹿児島県くらし保健福祉部障害福祉課  
099-286-2953

鹿児島県障害者権利擁護センター  
099-286-5110

月～金 8時30分～17時15分

## 浄化槽の法定検査を受けましょう

浄化槽管理者（使用者または設置者）は公衆衛生と生活環境を守るために、保守点検、清掃の実施とは別に、毎年1回の法定検査（定期検査）の受験が定められています。

【問合せ先】

鹿児島県生活排水対策室

鹿児島県環境保全協会

099-296-9000

和泊町役場生活環境課

099-286-3685

鹿児島県生活排水対策室

鹿児島県環境保全協会

099-296-9000

和泊町役場生活環境課

099-286-3685

鹿児島県生活排水対策室

鹿児島県環境保全協会

099-296-9000

和泊町役場生活環境課

099-286-3685

和泊町役場生活環境課

099-286-3685

和泊町役場生活環境課

099-286-3685

和泊町役場生活環境課

鹿児島県生活排水対策室

鹿児島県環境保全協会

099-286-3685

朝戸医院 町田医院 福山医院 朝戸医院 本部医院 大蔵医院 福山医院 町田医院 福山医院 朝戸医院 本部医院 大蔵医院 福山医院 朝戸医院 本部医院 12/31 12/24

2/25	2/23	2/18	2/12	2/11	2/4	1/28	1/21	1/14	1/8	1/7	1/3	1/2	1/1	12/31	12/24
福山医院	本部医院	朝戸医院	大蔵医院	町田医院	福山医院	本部医院	朝戸医院	大蔵医院	町田医院	福山医院	本部医院	大蔵医院	福山医院	朝戸医院	町田医院

※変更になる場合があります。当番医院に御確認の上、御来院下さい。

永良部  
世の主  
その二十七

## 祭りのあと 世之主の城跡

令和5年10月28日（土）、世之主の城跡（町指定史跡）において、世之主野外音楽祭が民間有志により開催されました。当日は、駐車場に入りきらないほどの車で、爽やかな秋風の吹く世之主神社周辺はたくさんの人で賑わいました。城跡第1平場の特設ステージでは、琉球舞踊・創作エイサー・民謡・ダンス・バンド演奏などが披露され、来場者はおもいおもいに、舞台と夕暮れ時の城跡の情景を楽しんでいました。

町教育委員会では毎月、町文化財保護審議会委員による指定文化財の巡視を行っています。世之主の城跡の担当委員から11月の報告が、「石積み崩落！」と。実は、筆者も祭り当日、その現場を目撃していました。小学生くらいの男の子がステージ裏の城跡最上部に登って遊んでおり、危険なので声掛けしようとしたその時、石積みの壁を滑り下りてしましました。幸い少年に怪我は無かつたようですが、弾みで石積みが崩落。週明けに現地を確認したところ、石材が4つほど転がっていました。

指定文化財で催し物を開催するにあたり、祭りの数日前に関係者と現地協議を行いました。無断での現状変更や危険個所への進入禁止、その旨を関係者や来場者に周知することなどを確認しました。今回崩れた箇所は、城跡の元々の構造（遺構）の可能性が高い場所でした。失われた遺構は、もう二度と元には戻りません。危険個所への進入防止柵の設置や当日の周知徹底など、もっと強く対策を講じておけばと悔やされます。一方で、文化財の活用については、官民にかかわらず積極的に取り組むべきことです。貴重な歴史遺産を次世代へ引き継ぎながら、うまく活用していく方策を図る必要が急務です。



崩落した石材

## 元気！ わどまりクラブ通信！

11月11日は介護の日。

そのイベントとして、11月12日に

パラスポーツの「ボッチャ大会」を開催しました！

2歳から101歳の、子どもから高齢者まで、

和泊町身体障害者福祉協会の方々など

50名を越える皆さんに参加して頂きました。

各チームに身障協会員の方が加わり、

交流を深めながらの開催となりました。



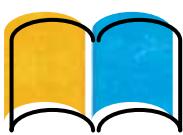
元気！ わどまりクラブは幅広い年代の方が一緒にになって楽しむことのできるスポーツイベントを開催していきます。

● 1～3歳児親子運動あそび教室（12/24）

● 冬季集中講座（12/26～12/28）

● 手ぬぐいバレー（1/28）

詳しくは【元気！ わどまりクラブ事務局 / 電話：0997-92-0300】までご連絡ください！



# Library

## 「新しい一年が始まりますね」の本棚

古くから『一年の計は元旦にあり』と言われています。新しい年の目標は立てましたか？そこに「今年は〇冊本を読む」という目標をプラスしてみてはいかがでしょうか？



### 『可哀想な蠅』

著：武田 綾乃

近所で目撃した光景を投稿したのをきっかけに絡んできた、粘着質なアカウント。芽衣子は、彼をスマホの中で飼うことに決めるが…。SNSで、職場で、近所で、家の中で。どこからか湧いてくる、可哀想な蠅たちや蓋をしてしまいたい感情。誰もが日々「見て見ぬふり」をしているものを突き付けるブラックでリアルな短編集。



### 『多分そいつ、今ごろパフェとか食ってるよ。』

著：J a M 監修：名越 康文

いつも誰かのことを考えて、悩んだり、傷ついたり、嫉妬したり…。嫌な気持ちがグルグルすることはありますか？どんなにこっちが考えても、相手を変えることはできないけど、でも、ほんのちょっとだけ自分の考え方を変えてみたら…？SNSからリアルな人間関係まで現代社会の悩みを解決する目からウロコのちょっとした「考え方」を教えてくれます。



### 『THE 藤井定食』

著：藤井 恵

きょう一日、これだけ食べていれば安心、それが私の「定食」です。一日一回、この定食を食べれば元気に過ごせます。お気に入りのお盆に、少しづつ集めてきた大好きな色や形の食器たちを並べ、お料理を盛りつけ写真を撮る。それがいつの間にか、私の中で楽しい趣味となったのです。

#### 新着本 / 一般書

『ウクライナ、地下壕から届いた俳句』著者：ウラジスラバ・シモノバ
『それは誠』著者：乗代 雄介
『ちょうどいいわがまま』著者：鎌田 實
『あなたを丸め込む「ずるい言葉」』著者：貴戸 理恵
『もう別れてもいいですか』著者：垣谷 美雨
『ほどよく忘れて生きていく』著者：藤井 英子
あたらしくはいったほん / じどうしょ
『どうぶつ なきまね いちにのさん』かいたひと：にへいたもつ
『ぬまの 100 かいだてのいえ』かいたひと：いわい としお

#### あたらしくはいったほん / じどうしょ

『おばけれっしゃ』かいたひと：しのだ こうへい
『どんぐりのき』かいたひと：亀岡 亜希子
『しめしめ』かいたひと：丸山 誠司
寄贈書
『田皆字誌』他1冊 寄贈者：新納 忠人
『持続可能な発展に向けた地域からのトランディション』寄贈者：石田 秀輝
『80歳の壁』他1冊 寄贈者：和田 百合江
『竜ちゃんのばかやろう』寄贈者：菅村 芳郎

※この他にもたくさん配架しております。

和泊町立図書館

TEL:92-3033/FAX:92-0773



[休館日]毎週月曜日・祝日・整理休館日 [開館時間]午前9時30分～午後6時

- 図書館を御利用の際は・本を入れるバッグの持参に御協力ください。
- 御返却の際は本の状態と忘れ物(しおり等)の確認をお願い致します。返却期限もお忘れなく。休館日は、入口横のポストへ。(紙芝居以外)

# 松っちゃんの お電気 ですか！？

皆さんはじめまして、松下周平と申します。2023年4月から「地域活性化起業人」として、役場企画課で働いています。知名町との共同提案で環境省に採択された、「脱炭素先行地域事業」を主な業務としています。「ミライネクト」という企業に所属しております。太陽光発電をメインとした再生可能エネルギーに関することや再エネをつくる発電家と再エネの電気を必要とする需要家をマッチングする仕事をしていました。そうした中で得た経験、知見を、沖永良部島での脱炭素事業に活かせればと思っています。この連載と同じタイミングで、町長による脱炭素に関する連載が始まります。そちらではSDGsや持続可能な社会をテーマに、「町民の皆様とどういった取り組みが出来るのか」といった内容をお伝えしていくと聞いています。対して、この連載では、これまで私が経験してきた太陽光発電業界にまつわる話や、沖永良部島での電力事情、電力の地産地消の必要性、再エネ導入に関わる課題などなど、「概論的なお話」をしたいと考えています。来年度からは先行地域事業で、和泊町内の公共施設への太陽光発電設備の設置が始まりますので、そちらの進捗も紹介していきたいです。次回は「太陽光業界の変遷」について、私目線でご紹介します。よろしくお願いします。

が一生のうちに解ける数は知っています

今回で連載一周年ということで、いつも少し違う角度から話をしたいと思いません。これまで様々な方言に関する疑問に答えてきましたが、多くの疑問に対する答えは「わからない」です。研究者は物知りなだけではなれるわけではなく、「今わからぬ謎を解く方法」を見つける能力を鍛えて就く職業です。同時に、ある謎が「解けるかどうか」を判断する力も鍛えています。謎だらけのこの世界では解ける謎なんてほとんどなくて、一人の研究者が一生のうちに解ける数は知っています

からね。例えば「足」を西部方言ではハギ、東部方言はハジと言いますが、「なぜそうなっているか」は「解けない謎」です。「-」の前の「g」が、「-」を発音するときの舌の位置（前方）に引っ張られて「乙」になつた、という発音や歴史変化的観点から「どうやつてそうなつたか」は説明できますが、なぜ東部方言だけそんな変化が起きたかというのは、言語学的には「解けない謎」です。あらゆる方言の疑問について、「日本語の大疑問」（幻冬舎新書）などの本を読んで、考えてみるのも面白いかもしれません。

国立国語研究所 山田真寛

Q 方言研究の中で「解けない謎」はあるの？

方言をうがみやぶら 第7回

からね。例えば「足」を西部方言ではハ

ななと  
森 虹翔くん  
(5歳)

しょうき  
森 翔希くん  
(1歳)



仲良し兄弟の翔希くんと虹翔くん！翔希くんはお兄ちゃんが保育園から帰ってくるのをいつも楽しみに待っています。

## COLUMN

# 戸籍の窓

### 出産

子の名前	性別	保護者	住所
豊田 紫樹(しき)	男	海斗・実久	皆川

### 町の人口

※ 12月1日現在( )は前月比

※ 外国人を含む

総人口：6,158人(16) 世帯数：3,282戸(21)

男性：3,079人(13) 女性：3,079人(3)

### おくやみ

月 / 日	故人	歳	住所
11/24	関口 澄雄	91	国頭

### おくやみ

月 / 日	故人	歳	住所
10/5	北 イキ卫	81	手々知名
10/5	和田 千枝	95	和
10/10	大山 信孝	99	手々知名
10/15	柳 ヤ卫	92	永嶺
10/19	大坪 政達	73	手々知名
10/20	大勝 マツ	99	内城
10/23	亘 義勝	92	仁志
10/25	和田 實勝	76	喜美留
11/8	泉 愛花	41	手々知名
11/18	西 八重子	52	国頭
11/22	宮本 久乃	91	大城

### 香典返し

寄付者	故人	続柄	住所
関根 けい子	関根 直綱	夫	手々知名
和田 広勝	和田 千枝	母	和
高田 きよ子	大勝 マツ	母	永嶺
関口 幸男	関口 ヨシ	母	国頭
大坪 勇	大坪 政達	弟	手々知名
村山 博輝	村山 茂輝	父	喜美留
亘 三千代	亘 義勝	夫	仁志
和田 秀二	和田 實勝	弟	喜美留
前田 仁	前田 マス子	母	和泊
町田 初美	町田 輝仁	夫	手々知名

2023年10月1日から2023年11月30日までのお届けのうち、掲載依頼のあった届けのみを掲載しています。(敬称略)

2023年2月にチャリおこし協力隊として着任してから9ヶ月経ちました。自転車でイベントを企画・運営をしたり、サンサンテレビで「ポタロケ」という番組を制作・出演させていただけてから町中で声をかけていたことが増えました。

活動内容は、「自転車を活用したまちづくり」です。和泊町が掲げている「第6次総合振興計画」の実現に向けてプロジェクトがいくつあります。そのうちの一つかが「もうるほうらしやプロジェクト」です。町民の皆さんのが移動手段を車から自転車へ移行すること、観光客の誘致など、地域活性化を目的とした活動です。この一年間は町民の皆さんと一緒に楽しめるようなイベントを企画していくこうと考えております。二年目以降は観光客を目的としたイベントを行っていきたいと考えております。

的な知識はありませんが、島の新たな魅力や地域資源を自転車で見つけられるよう、楽しんで活動していきたいと思います。これからも様々なイベントの企画・運営等に力を入れて、私のモットーである「自転車のチカラで町を元気に!」を掲げながります。

## 地域おこし協力隊日記



私自身、自転車に関して専門

チャリおこし協力隊

小林 彩夕里



奄美群島日本復帰 70周年記念

# 第40回 花の島沖えらぶ ジョギング大会

2024.3.10  
[SUN]  
8:30 開会

有料広告

CS292ch

## 時代劇専門チャンネルにて 松本幸四郎主演“新たな鬼平”第一弾

2024年1/8(月・祝) “独占”初放送!

田村正和

松本幸四郎

市川染五郎

テレビスペシャル  
「鬼平犯科帳 本所・桜屋敷」

©日本映画放送

サンサンテレビをご覧の皆様ならアンテナ不要でご覧いただけます。

スカパー!なら ご加入月0円!  
月額1,199円 (税込) 視聴料770円+基本料429円  
※ご加入月での解約はできません。

視聴に関するお問い合わせは  
0120-200-292 受付時間  
10:00~20:00  
(年中無休)

有料広告

BS255

## 放送開始30周年記念 シリーズ一挙放送 古畑任三郎誕生祭

田村正和

©共同テレビジョン

## 警部補・古畑任三郎(第1シリーズ) <デジタルリマスター版>

2024年1/6(土) 12時スタート 1話~6話が無料!

ゲスト: 中森明菜、堺正章、笑福亭鶴瓶ほか

サンサンテレビをご覧の皆様ならチャンネルを合わせるだけ!

「広報誌わどまりを見た」とお伝えください。

視聴に関するお問い合わせは  
0120-200-675 受付時間  
10:00~20:00  
(年中無休)



和泊町広報誌「わどまり」は地方自治体の情報を  
お届けするアプリ「マチイロ」でも御覧になれます。

